

教師として生きる、 決意と努力を 支えていきます。

教師の仕事は、自ら育とうとする小さき生命に寄り添うこと。

希望という名の刺激を与え、生きる力を引き出し、個性の花を咲かせるのを忍耐と寛容をもって待ち続けること。

それは尊く、他では得られないやりがいを与えてくれる仕事です。

中京大学は1957年に教職課程が認可されて以降、半世紀にわたって全国規模で教員養成の役割を担ってきました。

10学部を擁する現在も、全ての学部に教職課程を備え、毎年約200名の卒業生が教師として採用されています。

教職センターは、その実績のもとに形成された卒業生のネットワークとともに、確かなしくみで、

教師になろうと決意したあなたを全力で支えていきます。

《中京大学教職センター》

中京大学が教師育成に強い理由

伝統と実績

半世紀にわたる安定した実績に基づく、教員養成の確かなノウハウ

中京大学は、「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」の建学の精神のもと、学術とスポーツとの創造的調和によって多様で豊かな学術成果を生みだすとともに、社会に貢献する優れた人材の輩出を目指しています。社会発展の基盤である教育に携わる人材育成もその目的のひとつであり、これまで半世紀以上にわたって教員養成に取り組んできました。現在も、毎年約200名の卒業生が全国の学校に教師として採用されており、安定した実績のもとに教員養成の確かなノウハウを積み上げています。

支援体制

早期より体系的な支援を展開。卒業生も含め採用まで手厚くフォロー

教師に求められるのは、児童・生徒を導く教育力のもとより、教育へのゆるぎない情熱と使命感、子どもの人格を尊重する態度と深い愛情など。本学では、こうした教師に必要な資質づくりに関する支援を低年次から開始します。以後、教職課程および教員採用試験のスケジュールに応じた体系的な支援を切れ目なく展開。現役生のみならず、卒業生にも採用にいたるまで支援を継続していきます。

卒業生ネットワーク

全国で活躍する卒業生の協力を得て、教育現場における即戦力を養成

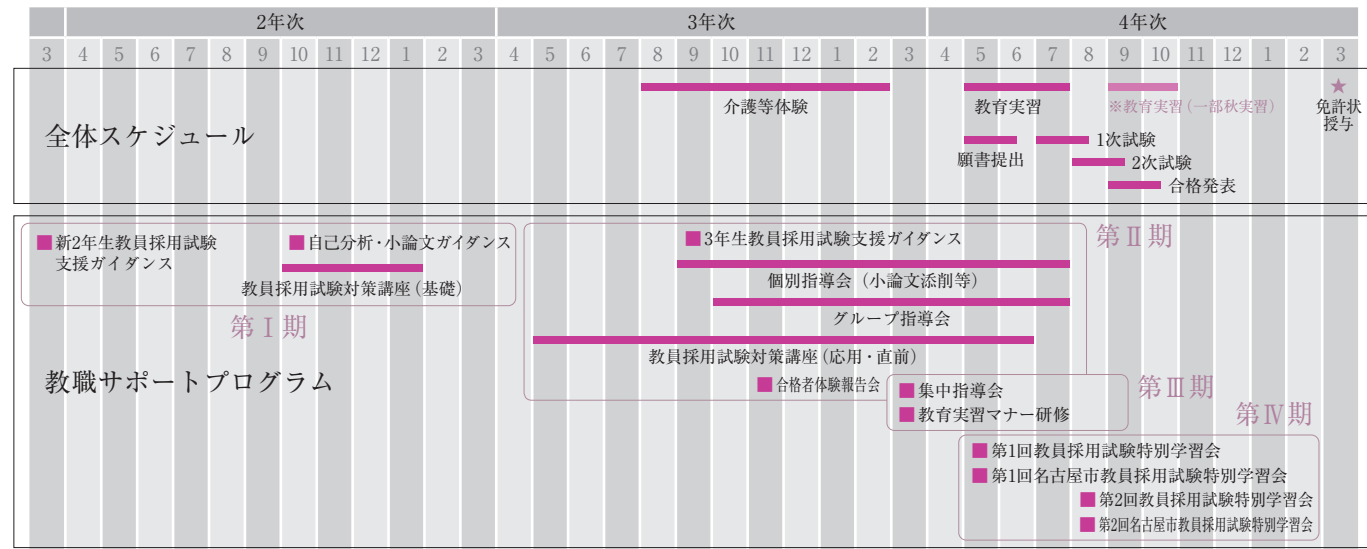
中京大学では、各学部における「教職担当教員」と、教職を目指す学生の教育・支援を専門に行う「教職センター」が連携し、目的意識を持続させながら効果的に学ぶ環境を整備。さらに、すでに教師として活躍する本学卒業生を招いた勉強会や講習会などを通して、教員採用試験の突破力とともに、すぐに第一線で働くことのできる姿勢づくりや実践力の育成に力を注いでいます。



早期からの段階的な目標設定と 充実した支援で合格をつかみとる。



教員免許状取得および教員採用試験合格に向けた支援内容 (一部抜粋)



>>> 期間ごとの目標 (あるべき姿)

第Ⅰ期: 教職課程開始	第Ⅱ期: 準備・基礎力養成期間	第Ⅲ期: スキルアップ期間	第Ⅳ期: 強化期間
「免許状取得」および「教員採用試験合格の最適な方法」を知っている	「教員採用試験の内容・仕組み」および「合格手法」を知っている	具体的な受験先を決定できている	受験対策の大部分を完了している
<input type="checkbox"/> 教職課程履修方法を知っている <input type="checkbox"/> 大学の支援内容を知っている <input type="checkbox"/> 合格した先輩の合格手法を知っている	<input type="checkbox"/> 最適な勉強方法を知っている <input type="checkbox"/> 支援イベントに参加できている <input type="checkbox"/> 教職課程履修の各手続きができている	<input type="checkbox"/> 小論文や面接などの実力を身につけている <input type="checkbox"/> 自己分析ができている <input type="checkbox"/> 自分の教師像を明確にできている	<input type="checkbox"/> 試験対策は最後の総仕上げをしている <input type="checkbox"/> 常に場面想定ができ、実習に参加できる <input type="checkbox"/> いつでも教師としてスタートができる



イベント紹介 (一部抜粋)

1. 支援ガイダンス

教師とは何か? — そのやりがいと厳しさを知る。

新2年生教員採用試験支援ガイダンス

「教師とは何か」や「教職のやりがいと厳しさ」について解説し、自身の目指す教師像を明確にします。同時に、教職課程および教員採用試験支援のスケジュールを紹介し、「これから何をすべきか」について考えます。

Voice 受講者の声
自分の目指す「教師像」に近づくために、今からできることがはっきりわかりました。

2年生に上がる前に行われるこのガイダンスでは、大学の支援内容や、学校ボランティアの案内、公立学校の元校長先生から現在の学校現場の現状や子どもたちの様子などリアルな教育現場のお話を聞くことができました。このガイダンスを通し、自分がどんな教師になりたいのかという、「目指す教師像」について深く考えるきっかけとなり、理想とする教師になるためには大学の支援を積極的に活用していくこと、ボランティアへ参加することなど、今から自分にできることがはっきりとわかりました。



合格へのモチベーションを高める。

3年生教員採用試験支援ガイダンス

合格率を上げるための受験方法、支援イベントと合格率の関係等、実績を踏まえ紹介します。教員採用試験に向けて、合格へのモチベーションを高める貴重な機会に。

Voice 受講者の声
大学の支援内容の充実を改めて実感し、教員採用試験に対する不安が軽減しました。

大学の支援内容の充実を改めて実感し、教員採用試験に対する不安が軽減しました。
(経営学部4年)

実績に基づく受験テクニックを知ることで、合格への道筋が見えました。
(法学部4年)

イベント紹介 (一部抜粋)

2. 筆記試験対策

早期からの筆記試験対策で、スタートダッシュを。

教員採用試験対策講座(基礎)

一般教養と教職教養を広く学びます。筆記試験の重要性を理解したうえで、早期から学ぶ習慣を身につけます。

Voice 受講者の声
膨大な試験範囲を前に不安でしたが、出題傾向・勉強法を効率よく学ぶことができました。

膨大な試験範囲を前に不安でしたが、出題傾向・勉強法を効率よく学ぶことができました。
(現代社会学部3年)

講座の予習復習を日々行うことで、自分の勉強のリズムが確立しました。
(国際学部4年)
※新学部名称にて記載

教員採用試験の突破力を高める。

教員採用試験対策講座(応用・直前)

教職教養を中心とした講義を1年半にわたり展開し、合格に必要な知識を身につけます。4年次では予想問題など、教員採用試験直前に活かせる試験対策も実施します。

Voice 受講者の声
要点を抑えた丁寧な指導と実際に予想問題を解く講義は、試験前の総仕上げにもなりました。

教員採用試験を熟知したプロの講師から試験の出題傾向や、覚えやすい方法などを丁寧に指導していただけるだけでなく、4年次には予想問題や過去問題を取り扱う講義もあり、教員採用試験前の総仕上げを効率よく行うことができました。また、講座で配布される問題集や資料集は自主学習の際にも活用でき、試験勉強にとっても役立ちます。講座と自主学習をセットで行うことで、日々力が付いていく実感を得ることができました。



イベント紹介 (一部抜粋)

3. 小論文・指導会

合格に向けた個別指導

個別指導会(小論文添削等)

学生一人ひとりに合わせた細かな指導。学習進捗に合わせたアドバイスも行います。また、小論文も徹底的に指導。合格につながる「書き方」を伝授します。

Voice 受講者の声
合格につながる書き方を早期に学んだことが、自分の強みになりました。

合格につながる書き方を早期に学んだことが、自分の強みになりました。
(総合政策学部3年)

弱点を中心に何度も繰り返し指導していただき、感謝しています。
(心理学部4年)

教職経験者から、リアルな教育現場を学ぶ。

グループ指導会

教職経験者の指導のもと、個人面接や場面指導などの人物評価を中心とした試験を突破できる実力を養成します。

Voice 受講者の声
学部の垣根を超えた仲間との意見交換は、教育に対する視野を広げ、成長につながっている実感があります。

グループ指導会は、「教師になりたい」という同じ夢を持つ仲間とともに学び合う貴重な場でした。自分とは異なる意見を聞くことで新たな気づきと発見ができ、自分の教育に対する視野が広がりました。また、一人では難しい人物評価試験対策では、元校長先生の指導の下、仲間とともに練習ができることで、新たな考え方や技能を身に付けていくことができました。「このメンバー全員で合格を掴み取ることができるように全力で頑張りたい」と、そう思わせてくれるのがグループ指導会です。



試験直前の実践指導で、合格をつかむ!

教員採用試験特別学習会(1回/2回)

本学卒業生を講師に招き、教員採用試験合格に向けた具体的な対策を指導します。本番のような緊張感を持って実施されるため、試験慣れの効果もある直前対策です。

Voice 受講者の声
本番のような緊張感ある空間を体験できたことで、落ち着いて本番に臨むことができました。

これまで学んできたことを発揮しようという気持ちで学習会に臨みましたが、講師の先生方によって作られた本番さながらの空間に緊張し、普段通りの力が出せませんでした。しかし、教員採用試験の前にこの体験をできたことで新たな課題に気づき、その解決に向けてじっくりと対策を練り、練習を繰り返すことができました。そのおかげで、本番では自信をもって試験に臨むことができました。



名古屋市教員採用試験突破を目指す直前対策!

名古屋市教員採用試験特別学習会(1回/2回)

実践的な各種指導を実施。名古屋市教員採用試験の傾向などを知り、合格に必要な力を身につけます。人物評価試験の直前対策です。

Voice 受講者の声
名古屋市の試験内容に特化した内容で、効率よく学びを深めることができました。

名古屋市の試験内容に特化した内容で、効率よく学びを深めることができました。
(文学部2023年3月卒)

同じ名古屋市を目指す仲間との交流の場にもなり、モチベーションが上がりました。
(スポーツ学部2023年3月卒)

卒業生との連携

教師を目指す卒業生も全力でサポート
既卒者支援の充実

大学が支援するさまざまなイベントには、学部生だけでなく、既卒者も希望者は全員参加が可能。ホームページや卒業生ネットワークを介して開催日程等の告知も行っています。

卒業生の知識と経験をフィードバック
卒業生教員ネットワーク

知識と経験を備えたベテラン教師の卒業生が、教師を目指す学部生を学習会等で指導。さらに、教師となった卒業生で構成される部会が中心となり、新任教員をバックアップしています。

蓄積された確かなノウハウで、 毎年約200名の教師を全国へ輩出。

◆教員採用試験実績（2022年度公立学校のみ）

2022年度合格者 合計 190 名	中学校	高等学校	中学校・高等学校	小学校	特別支援学校
	72名	22名	9名	61名	26名

◆主な教員採用試験合格先（2022年度）

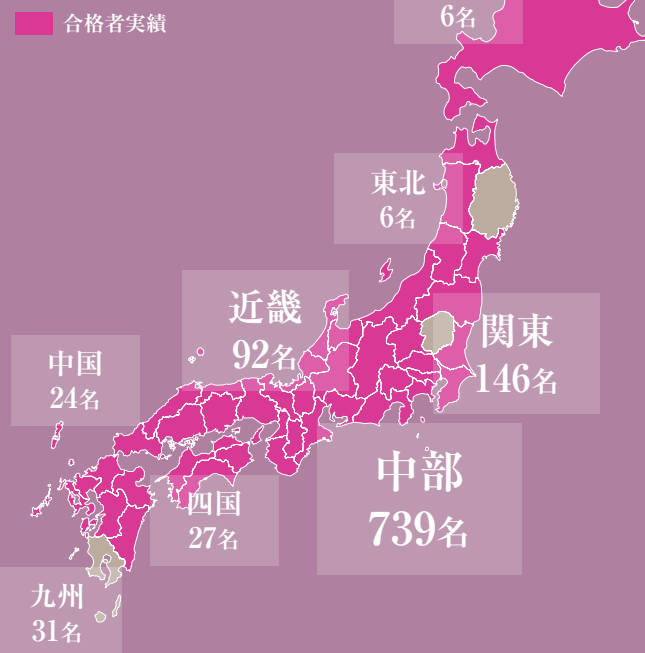
愛知県公立中学校／愛知県立高等学校／愛知県公立小学校／名古屋市立中学校／名古屋市立高等学校／名古屋市立小学校／岐阜県公立中学校／岐阜県立高等学校／岐阜県公立小学校／三重県公立中学校／三重県公立小学校／静岡県公立中学校／静岡県立高等学校／静岡県公立小学校
静岡市立中学校／浜松市立中学校／長野県公立中学校／長野県公立小学校／北海道公立中学校／札幌市立中学校／札幌市立高等学校
神奈川県公立中学校／横浜市立中学校／横浜市立小学校／茨城県公立中学校／茨城県公立小学校／福井県公立小学校／石川県公立中学校
石川県立高等学校／石川県公立小学校／富山県公立中学校／新潟市立中学校／新潟市立高等学校／兵庫県公立小学校／神戸市立中学校
神戸市立高等学校／京都市立小学校／大阪府公立中学校／滋賀県立高等学校／鳥取県公立小学校／岡山県公立中学校／広島県公立中学校
高知県立高等学校／徳島県公立中学校／徳島県立高等学校／福岡県公立小学校／佐賀県公立中学校／沖縄県公立小学校 など

◆過去5年間の合格実績

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全合格者数	219名	237名	216名	209名	190名
中学校	69名	79名	90名	79名	72名
高等学校	48名	36名	35名	35名	22名
中学校・高等学校	4名	9名	9名	3名	9名
小学校	64名	73名	60名	72名	61名
特別支援学校	32名	40名	22名	20名	26名
その他 (養教・校種不明)	2名	0名	0名	0名	0名

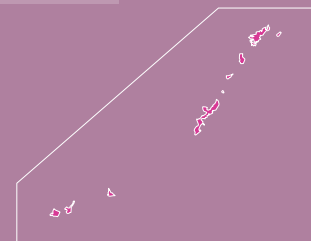
◆日本全国各地へ合格者を輩出

地域別／合格者数一覧
(2018年～2022年総数実績)



2018年～2022年度 合格者合計

1,071名



不安を自信に変える支援が目標への道標。



文学部日本文学科4年 石井 花さん
取得予定免許：中学（国語）／高校（国語・書道）

教職を目指す上で、不安だったことのひとつは勉強法です。それが解消できたのは合格者体験報告会。どのように取り組めばよいのか、先輩方からいただいた助言はとても心強く感じました。私が参加してきた中で成長を感じられた教職センターの支援は小論文の個別添削です。「自分らしく、自分の大切にしていきたいことを書けばいい」とアドバイスをいただいたことで苦手意識も克服でき、今では自信が持てるま

でになりました。また、小論文を書くことは、自分が理想とする教師像を改めて見つめ直す時間にも。明確になったのは、一人ひとりの生徒に寄り添い、一人ひとりを大切にできる教師像です。将来、文学部で得た豊富な知識を活かし、生徒が国語に興味を持ち、楽しく学べる授業を行いたいと思っています。国語の魅力を伝えることで、「私も国語の教師になりたい」と思ってくれる生徒がいたら嬉しいです。

仲間と刺激し合える環境が成長のステップに。



国際学部言語文化学科4年 石原 希穂さん
取得予定免許：中学（英語）／高校（英語）

※新学部名称にて記載

私にとって貴重な学びとなったのは模擬授業です。先生として授業を行った際にもらうクラスメートからの意見、生徒役として授業を受けた際に気づく自分にはない指導法など、常に新たな発見がありました。教職センターの支援の中で心強く感じているのはグループ指導会です。学部の垣根を越えた仲間との意見交換を通して、多様な考え方があっても実感でき、有意義な時間になっています。また、各自治体

の教育委員会の方から話が聞ける教員採用試験説明会は、試験に向けての不安を払拭してくれました。私が教師を目指すきっかけになったのは、中学生時代のホームステイです。異文化にふれること、違う価値観に出会うこと。それが私自身の成長につながっていると思っています。私は、英語を学び、話すことをきっかけに、視野が広がること、世界がもっと広がることを教師として伝えていきたいです。

心に寄り添う支援がモチベーションの源泉。



スポーツ学部スポーツ教育学科4年 板谷 亮佑さん
取得予定免許：中学（保健体育）／高校（保健体育）

限られた時間の中、ステップアップを目指す上で、中京大学は恵まれた環境にあると思いました。同じ教師という職業を志す仲間との授業や部活動など、さまざまな時間を通して、意見を交わしたり、将来について語り合ったり、切磋琢磨できることに魅力を感じています。教職センターの支援で私が継続的に活用しているのは個別指導です。その時々不安、迷いを受け止めていただけることで、前向きに

取り組む意欲も芽生えてきました。私にとってこの時間は、モチベーションを維持するためのルーティンにもなっています。授業の中で、いじめや不登校について聞く機会もありました。そもそも私が教師を目指したのは、人を支える職業に就きたいと考えたからです。将来の目標は、生徒一人ひとりが目標を持って学校生活を送れるように助けられる教師。揺れ動く心に寄り添ってあげられる存在になることです。

◆取得可能な教員免許状（各自治体および私立学校の教員採用試験においては、取得免許状の要件を課していることがあります。）

	学部	国際	文		心理	法	経済	経営	総合政策	現代社会		工	スポーツ科			
			言語・文化	歴史・文化						日本語	言語表現		現代社会	現代社会	電気*	スポーツ
中学校教諭一種	国語															
	外国語(英語)	●														
	社会		●			●	●	●	●	●						
高等学校教諭一種	保健体育												●	●	●	●
	国語			●	●											
	書道			●	●											
	外国語(英語)	●														
	公民					●	●	●	●	●	●					
工業	商業						●	●	●	●						
	工業						●	●	●	●						
	保健体育											●	●	●	●	●

*取得可能な学科・専攻のみ記載。

◆通信課程による教員免許状取得プログラム

本学では提携校の通信課程を履修することで卒業時に右記の免許状が取得できます。履修に際して条件および学内選考等があります。また、別途学費等納付金が必要となります。右記の免許状を同時に取得することはできません。

●小学校教諭二種免許状(提携校:玉川大学通信教育課程)
【取得可能学部学科専攻】文学部歴史文化学科、心理学部、法学部、現代社会学部現代社会学科(社会学専攻・コミュニティ学専攻)、スポーツ科学部スポーツ健康科学科・スポーツ教育学科

●特別支援学校教諭一種免許状(提携校:明星大学通信教育部)
【取得可能学部】心理学部、法学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、スポーツ科学部
●高等学校教諭一種免許状[公民](提携校:玉川大学通信教育課程)
【取得可能学部学科】文学部歴史文化学科

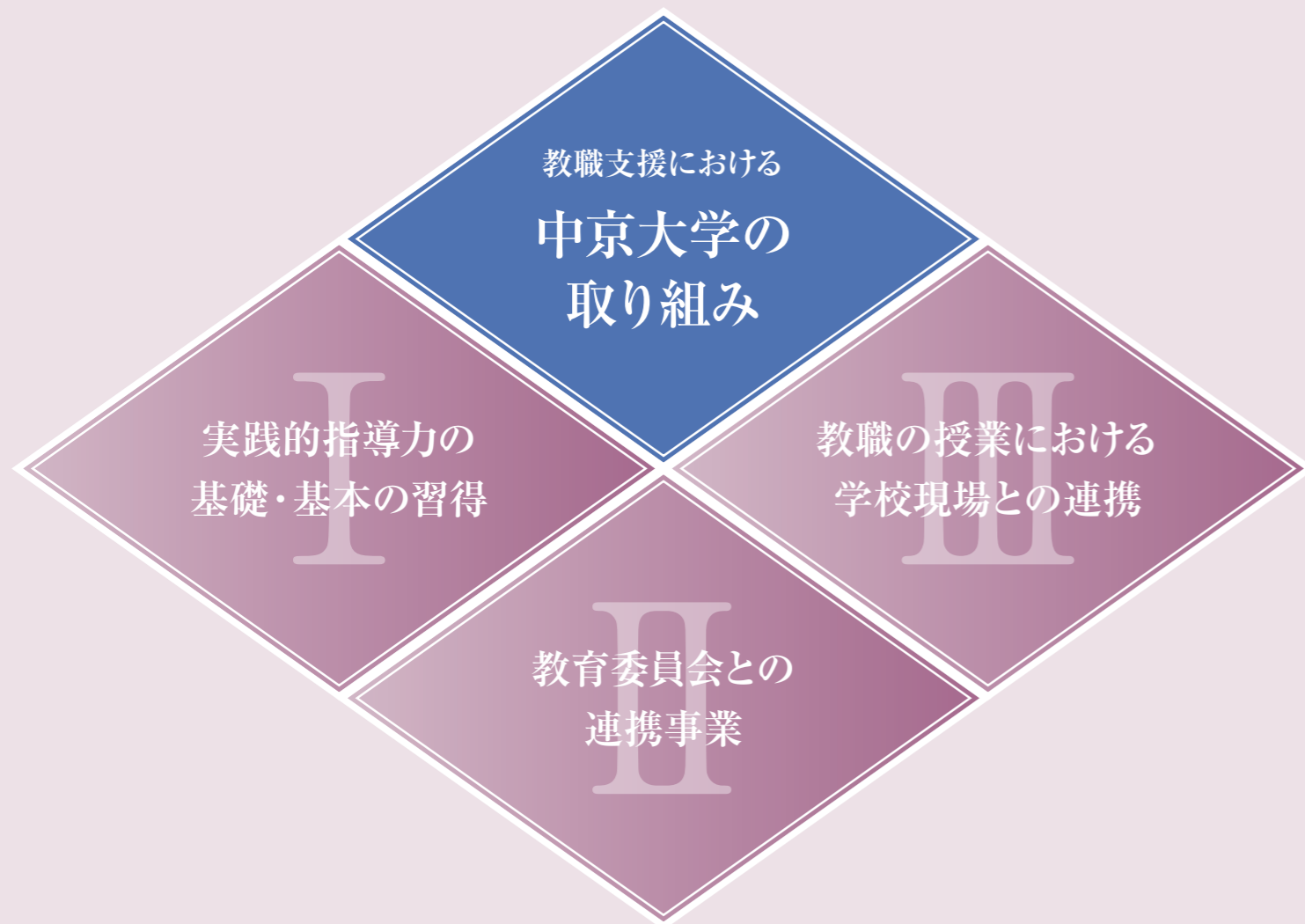
中京大学

教職センター

■名古屋キャンパス
〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL: 052-835-7218 FAX: 052-835-7164

■豊田キャンパス
〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101
TEL: 0565-46-1231 FAX: 0565-46-1233

即戦力となる真の教師を目指して



合格の先を見据え、実践的な指導を展開。

中京大学の教職支援は単に、教員採用試験を合格させるだけの指導に留まりません。

もちろん、合格を目指す学生の希望に応える支援は早い段階から手厚く行っており、

毎年約200名の合格者を輩出。これがさらなる支援の糧となっています。

しかし、「合格」のみが本学教職センターの目的ではありません。現役合格した学生だけではなく

講師としても卒業後、教壇に立つ上では即戦力となることが期待されており、

こうした現場の期待に応えうる実践力と豊かな社会性を育む多彩な指導を展開。

4月から一人の教育者として先輩教員はもちろん、生徒や児童、保護者からも必要とされる

本物の力を有する「真の教師」の育成を目指しています。

教職支援における中京大学の取り組み

I 実践的指導力の 基礎・基本の習得

教員採用試験後より、合格者はもちろん講師として学校現場で働く人も含め、実際に教壇に立つ上で必要な実践的指導力（生徒指導力・教科指導力・学級経営力等）の基礎・基本の習得を目指した指導を行っています。

●指導内容…学校現場を知る／教員の仕事を学ぶ／教員としての感性とセンスを磨く／評価と評定／学校行事／学級経営／授業経営／生徒指導／危機管理／保護者対応や保護者との連携について／障害のある児童・生徒や問題行動への対応／着任式でのあいさつ、学級生徒への話、授業での話など／目指す教師像、育てたい子ども像の明確化と目指す授業の構造化 など

授業ピックアップ

「学級だより」をつくってみる

実際に「学級だより4月号」を作成し、一人ひとり発表することを通して、学級だよりの役割や効果、学校の目標や方針との関連、言葉使いや文章化についての注意等について学びます。さらに、それぞれの発表内容についてグループ討議し、「わかりやすい、伝わりやすい話し方」について理解を深めます。

「いじめ」への対応について

実際にあった事例からロールプレイングとその後グループ討議によって、どんな方法が最も適切だったかを共有します。また、いじめや不登校の定義や実態について学ぶとともに、問題を抱える生徒・児童からのサインを見逃さないための方法や、いじめを許さない学級・学校づくり等について学んでいきます。

II 教育委員会との 連携事業

本学と個別協定を締結している名古屋市および豊田市の学校を中心に現場での実践的な取組を学ぶ機会を提供。現場体験では実際に児童・生徒とふれあい、教育・指導を体験することによって確かな実践力を育みます。



連携事業ピックアップ

教職実践演習講演会

大学の学びと学校現場との違い、また学校現場の様々な課題やその対応など、学習指導および生徒指導の観点から教育現場での実践経験を連携先の教育委員会から講師を招きお話しいただきます。

学校ボランティア

小学校・中学校・高等学校のそれぞれの学校現場のニーズに合わせて、学習支援、部活動支援、学校行事支援など学生を派遣、学校現場で児童・生徒とふれ合う機会を提供しています。

III 教職の授業における 学校現場との連携

学校現場との連携のもと、本学教員が学生とともに学校を訪問し、児童・生徒の視野を広げる専門性の高い授業を実施。教職を目指す学生は、授業の補助を通して直接子どもたちと接し、教育指導の経験を重ねていきます。また、この授業は、連携先の学校の先生たちの研究論文作成や総合学習への応用など、さらなる教育力の向上にも役立てられています。

事例紹介

学校授業補助

小中学校の授業を、訪問校の教員とともに本学学生が担当。学生が大学で学ぶ専門性を生かし教員の補助を行います。児童・生徒に直接教えることで、予想とは異なる生の反応や声は期待以上に学生の教師力育成につながります。また子どもたちの成長の様子を目の当たりでき、その感動はさらなる学びとなっていきます。

専門性を生かした出前授業

教育機関の要望にあわせ本学教員が出前授業を行います。これまでにダンスの表現指導、ラグビーなどのスポーツ競技の魅力やルールの教授、授業における効果的なICT機器の使い方、日本漫画・アニメの翻訳から異文化を体験など、専門の教員が学校へ訪問し直接指導を行っています。今後も、学校現場が取り組んでいる活動や時代に合わせた様々な領域での派遣をすすめていきます。